

寺 報

龍正寺

日なた 88号

良の心悪の心

自分自身より

生ずる存り

日 延



<平成27年 9月>

宝 龍 会
護 持 会

— 任職の一言 —

良い事も、悪い事も、自分自身より生ずる。

私たちは、自分本位の思孝、感情、欲望の中で、日々の生活を送っていることが、よくあります。

時には、自分の感情を丸出しに、怒りや欲望によって相手を知らず知らず傷ずをつけてしまい、自己満足となり思い通りにならないと相手を責めてしまいます。

まずは自分自身を、一度みつめ直して見ると、思わぬ世界が見えてきます。

法華經 壽量品 第十六の中に「自我得佛来……速成就佛身」とあります。自我の「自」と仏身の「身」を取ると、「自身」と教えられておられます。また「毎自作是念」つねに自からこの念をなす。とも説かれています。

自分自身が、一生懸命にしても、思った結果が得られない時があります。そして苦しい心が生れ毎日が暗くなり、いやな事はばかりが回りによって

来ます。

何事をするにも自分自身であり、相手に望む必要はなく、心に思いやりが生れれば、回りも自然に変わって来ます。自分の心を豊かにすれば、相手の良い所を見つける事が出来ると思っています。

今「ブツダの言葉」を読んでおきます、毎日ページを開くために、心が洗われるような気持ちです。

法華経は釈尊(ブツダ) 最後のお教えと言われている。

法華経は難かしいお教えですが「ブツダの言葉」の本はとても読みやすく理解しやすく書かれています。この本を読む事で法華経が、また近づくように思われます。 拜読されるとよい本です。

合掌

(^-^)/ 強くなれました (^o^)/

お寺(龍正寺)へ時々、相談に来ていた頃の私は、心のとても弱い人間でした。常に自分は被害者という気持ちか強く、「何故私がこんな目にあうの？何かしたわけでもないのに…」 「どうして何もしてくれないの？私はこんなに頑張っているのに…」

今思うとなんと、自己中心だったかと恥かしいばかりです。

そして、何か事が起きると、苦しく、つがいと思いのたけを御上人さんへ訴え、自分の都合の良い言葉をもらえると御機嫌で帰宅し、思いと違う事を言われると「ちっともわかってくれない。」と不平・不満の心がフツフツ滞っていました。本当に今、考えるとなさないと思います。その時の思いと違う言葉こそ、私にとっての良薬(お教え)だったのだと思います。

しかし、その良薬(お教え)を服薬するには、大きな勇気が必要でした。よく効く分、時には副作用もありました。でも、それを乗り越えると自分自身が楽になりました。

法華経には七つの喩えがあります。どの喩えも自ら少しづつでも飲み込んで行く事で不思議です。

小さな出来事にも、幸せ・喜びを感じる事が出来る様になります。

私は法華經を知り、学ぶなかで少しずつ力が滯ってきました。

そして今、心身ともに「強く」なりました。

長～い歲月の間に平常心で心穏やかに過ごせる様になります。

どの様な時も、まず「落ち着いて、冷静になるう」そして、自分

の心を見つめ振り返ると自己覚知できる。心にuと呼吸

おく事で怒り、ねたみなどの心を起こす事なく、何か他の思

い(ポジティブ)に気がかき出せる事が出来ます。

私はこの人生の中で、法華經に巡り会えた事に最高の喜びを感じ

ています。何が起こるかわからない今の世の中です。だからこそ、

法華經のお教え、が私達にとって必要なと思います。

七つの^{たと}喩え

◦ 三車^{さんしゃ}火^か它^たの喩え

◦ 長者^{ちやうじやう}窮子^{きゆうじ}の喩え

◦ 三草^{さんそう}二木^{にぼく}の喩え

◦ 化城^{けちやう}宝丸^{ほうわ}の喩え

◦ 衣^え裏^り繫^{けい}珠^{じゆ}の喩え

◦ 髻^{けい}中^{ちゆう}明珠^{めいじゆ}の喩え

◦ 良医^{りやうい}治子^{ちし}の喩え

— 私の挑戦 —

3年前から挑戦してきた保育士試験が、この夏、3回目を迎えました。主人は仕事の合間に子ども達を見ていてくれて、子ども達も応援してくれましたが、終了後の回答速報を見て自己採点すると、あと1問で不合格である可能性が高いことが分かりました。今回不合格となると1回目に合格した科目を再受験しなければならず、正直、気持ちが一途切れそうになりました。

母親は、「仕事、子育て、家事をしながらよく頑張ったと思うよ。1回休んだら？」と言ってくれました。

主人には、「今は全部降りて、また挑戦する気持ちにならなければ応援する」と言われ、結構一杯だった私は、半分、「少し期間をおいて、また1から受験しなおそうかな...」という気持ちになりました。

今年、受験生の娘に話すと、1回休むとまた始めるのに時間がかかるだろうから今は諦めたい

方がいいと諭されました。長女の夢は美容師。娘が店を持てたら、私が保育士としてお客様のお子さんを預かいたら素敵だなと思います。子育てをさせてもらう中で子ども達の成長を感じられる職につきたいという気持ちと重なる、挑戦を決めました。保育士です。今ここで休んだら楽な方へ流されてしまうかも...

挑戦し続けなければいけない!! と思い直しました。

そう思った途端、ふと頭に浮かんだ「地域限定保育士試験」。案内は随分前に届いていて、一番近い受験地は大阪だったので案内も捨ててしまっていたかと思いましたが発見!! 少しでも可能性がある限り、頑張ってみよう!! と思います。

何事も思い、努力し続けなければ「願いは叶う」試験は10月。また家族にも協力してもらい、感謝の気持ちを忘れずに挑戦してきます!!

「みんなで1つのことを」の大切さ。

自分の回りで起ることは、自分自身が原因であり、その結果が出ていることにすぎない。

今年は、本当にそう思うこと、感じる事が多かった。今までと同じ事が起きていたとしても、気がつかないだけであった。

仕事を自分一人がかかえてしまい、同じ仕事をしているメンバーに伝えきれていなかった。自分の中で、休み中に職場に来て対処すれば良いと思っていたのでした。

1人のメンバーに、『仕事と休み(プライベート)は分けてほしいかん。同じ事してるメンバーなので伝えてもらわしてほしいと。あはたかが休んでいる時、私があれこれ対処してほしいかんてしよ』と一括。

昔の私なら、もうやだよねと相手をバの中で責めていたと思います。

今は、『言ってもらえてありがとう』と素直に伝えることもできました。

話し合いをすると互いにいろんな意見が出て、分担もスムーズにいきました。私に足りなかったのは、一人がかかえて一人で伝えたいということだと気がつきました。

お寺でのスローガンでもある「みんなが1つのことを」が
重なりました。

何かする時には互いに報告・連絡・相談が
大切ということを感じました。

当り前の事ではありますが、自分の行動で
できない部分でもあります。今の段階で100%
出来てはいませんが、注意して確実に出来る
ように日々精進していきたいと思っております。

南無妙法蓮華經

日々感謝です。

< 寺院行事内容 >

- 9月 13日 (日) 午前10時~ 宗祖日蓮聖人報恩会
龍口法難会
役員会(法要終了後)
- 9月 18日 (金) 午前10時~ 鬼子母尊神・七面大明神初禊会
七面大明神大祭法要
- 9月 23日 (水) 秋季彼岸中日法要会

< 住職行事内容 >

- 9月 8日 (火) 中部教区修法師会総会(三河)

< 9月の予定 >

- 9月 6日 (日) 各々の時間で清掃・準備活動
}
- 9月 12日 (土) " 役員会準備
}
- 9月 17日 (木) 各々の時間で清掃・準備・活動
}
- 9月 22日 (水) " }
}
- 9月 23日 (水) 法要終了後片づけ